

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和2年12月】

■調査概要（データ対象期間：令和2年12月1日～12月31日）

○調査期間：令和2年12月28日～令和3年1月21日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業22企業、製造業23企業、卸売業13企業、小売業27企業

飲食業16企業、サービス業43企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計144企業>

○調査項目：12月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DIともにマイナス幅の拡大

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲35.2）よりマイナス幅が1.6ポイント拡大し、▲36.8となった。業種別では、卸売業、建設業、小売業ではマイナス幅が縮小した。飲食業、サービス業、製造業はマイナス幅が拡大した。

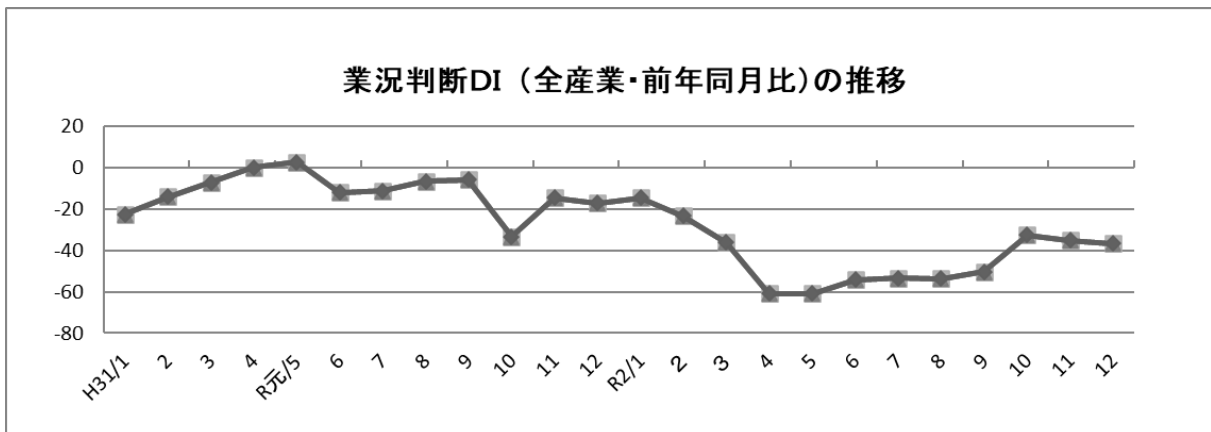
○全産業合計の水準DIは、前月（▲32.4）よりマイナス幅が3.7ポイント拡大し、▲36.1となった。業種別では、卸売業、小売業はマイナス幅が縮小した。建設業は変化がなかった。飲食業、サービス業、製造業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	9.0 (10.8)	45.2 (43.2)	45.8 (46.0)	▲36.8 (▲35.2)	10.4 (12.9)	43.1 (41.8)	46.5 (45.3)	▲36.1 (▲32.4)
建設業	0.0 (0.0)	90.9 (72.7)	9.1 (27.3)	▲9.1 (▲27.3)	4.5 (4.5)	77.3 (77.3)	18.2 (18.2)	▲13.7 (▲13.7)
製造業	8.7 (14.3)	30.4 (28.6)	60.9 (57.1)	▲52.2 (▲42.8)	17.4 (23.8)	26.1 (14.3)	56.5 (61.9)	▲39.1 (▲38.1)
卸売業	7.7 (0.0)	53.8 (46.2)	38.5 (53.8)	▲30.8 (▲53.8)	7.7 (0.0)	53.8 (38.5)	38.5 (61.5)	▲30.8 (▲61.5)
小売業	25.9 (17.4)	33.4 (39.1)	40.7 (43.5)	▲14.8 (▲26.1)	25.9 (17.4)	26.0 (39.1)	48.1 (43.5)	▲22.2 (▲26.1)
飲食業	0.0 (6.3)	6.2 (18.7)	93.8 (75.0)	▲93.8 (▲68.7)	0.0 (12.5)	6.2 (25.0)	93.8 (62.5)	▲93.8 (▲50.0)
サービス業	7.0 (15.9)	48.8 (45.5)	44.2 (38.6)	▲37.2 (▲22.7)	4.7 (13.6)	55.8 (45.5)	39.5 (40.9)	▲34.8 (▲27.3)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

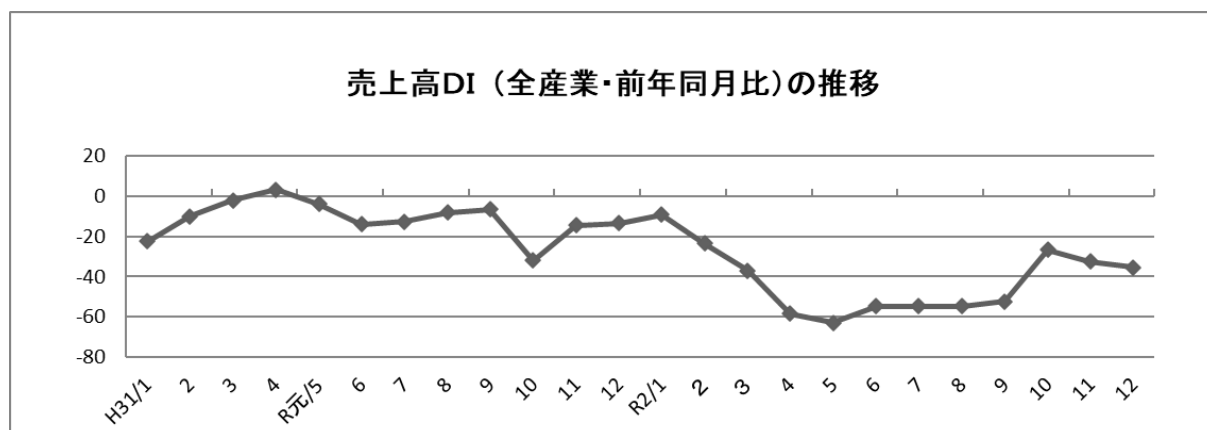


2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲32.4）よりマイナス幅が3.0ポイント拡大して、▲35.4となった。業種別に見ると、卸売業、小売業、建設業はマイナス幅が縮小した。サービス業、飲食業、製造業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月売上高業種別DIの推移】

	元年12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全 体	▲13.3	▲9.3	▲23.4	▲37.0	▲58.6	▲63.0	▲54.8	▲54.8	▲54.9	▲52.4	▲26.8	▲32.4	▲35.4
建 設 業	▲4.0	16.6	▲12.5	▲5.0	▲35.0	▲18.2	▲29.2	▲31.8	▲35.0	▲39.1	▲15.8	▲22.8	▲13.6
製 造 業	▲40.9	▲14.3	▲41.0	▲19.1	▲75.0	▲70.0	▲70.6	▲76.2	▲68.2	▲64.0	▲47.6	▲38.1	▲43.5
卸 売 業	▲38.5	▲30.8	▲28.6	▲81.8	▲63.6	▲72.7	▲53.8	▲41.7	▲60.0	▲61.5	▲25.0	▲61.5	▲38.5
小 売 業	▲6.7	▲23.4	▲25.0	▲46.1	▲50.0	▲72.0	▲32.0	▲66.7	▲43.5	▲36.4	▲13.1	▲17.4	▲7.4
飲 食 業	▲20.0	▲31.2	▲47.0	▲92.9	▲92.3	▲100.0	▲86.7	▲84.6	▲94.1	▲88.2	▲58.8	▲68.7	▲87.5
サービス業	0.0	2.2	▲8.9	▲25.5	▲56.8	▲61.4	▲65.9	▲44.2	▲46.7	▲44.1	▲17.4	▲20.5	▲39.6

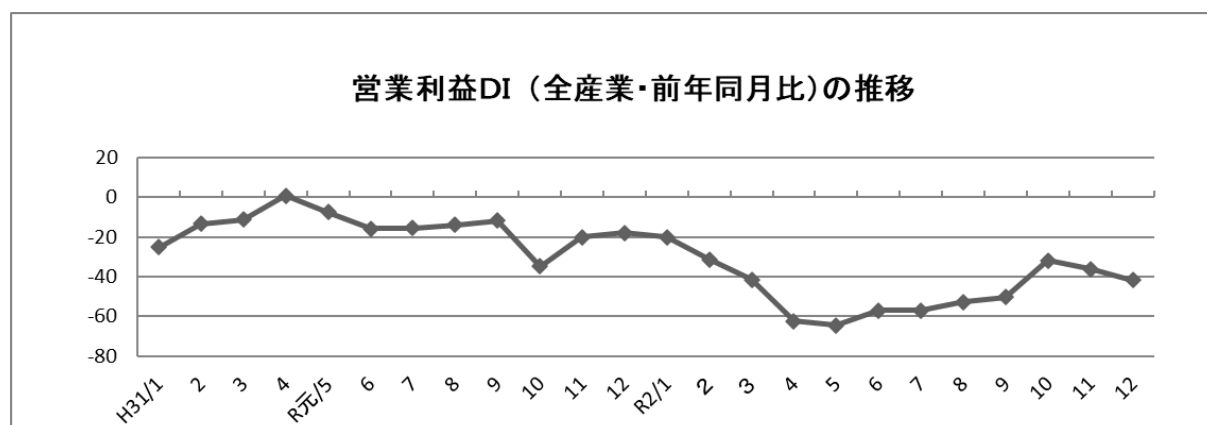


3. 営業利益D I（前年同月比）

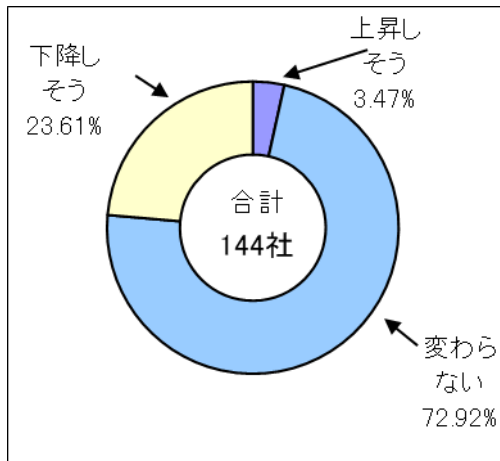
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲36.0）よりマイナス幅が5.7ポイント拡大して、▲41.7となった。業種別に見ると、卸売業、建設業、製造業はマイナス幅が縮小した。サービス業、飲食業、小売業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月営業利益業種別DIの推移】

	元年12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全 体	▲17.8	▲20.0	▲31.3	▲41.5	▲62.5	▲64.5	▲57.0	▲57.1	▲52.8	▲50.3	▲31.9	▲36.0	▲41.7
建 設 業	0.0	▲4.2	▲29.1	▲30.0	▲40.0	▲31.8	▲37.5	▲36.4	▲40.0	▲30.4	▲31.6	▲36.4	▲31.8
製 造 業	▲50.0	▲38.1	▲50.0	▲38.1	▲81.2	▲65.0	▲82.3	▲90.5	▲59.1	▲60.0	▲52.4	▲57.1	▲56.5
卸 売 業	▲23.1	▲30.8	▲42.9	▲54.5	▲72.7	▲90.9	▲53.8	▲50.0	▲46.7	▲46.1	▲25.0	▲46.1	▲23.1
小 売 業	▲16.7	▲36.7	▲35.7	▲46.2	▲54.2	▲68.0	▲32.0	▲62.5	▲43.5	▲36.3	▲8.7	▲17.4	▲18.5
飲 食 業	▲40.0	▲37.5	▲52.9	▲85.7	▲92.3	▲100.0	▲86.7	▲84.6	▲94.1	▲94.1	▲70.6	▲81.3	▲87.5
サービス業	▲4.4	0.0	▲8.9	▲27.9	▲59.1	▲59.1	▲63.5	▲41.9	▲46.7	▲46.5	▲21.8	▲15.9	▲41.8



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

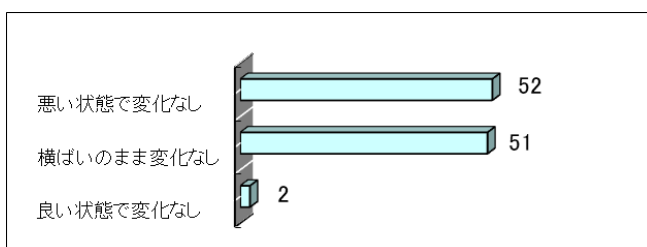


○令和3年1月～令和3年3月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.85ポイント減少し3.47%、「下降しそう」が2.75ポイント増加し23.61%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲4.6)、製造業(▲17.4)、卸売業(▲23.1)、小売業(▲18.5)、飲食業(▲37.5)、サービス業(▲23.3)であった。

➡「上昇しそう」では「7月豪雨災害の復旧工事が発注されるため」(建設業)「年度末に向けて受注が入ってきているため」「新型コロナウイルス感染症に関する補助金による受注の増加と繁忙期が重なるため」(製造業)「ディーラーの決算期で新車販売が増加しそうなため」(サービス業)といった声が寄せられた。

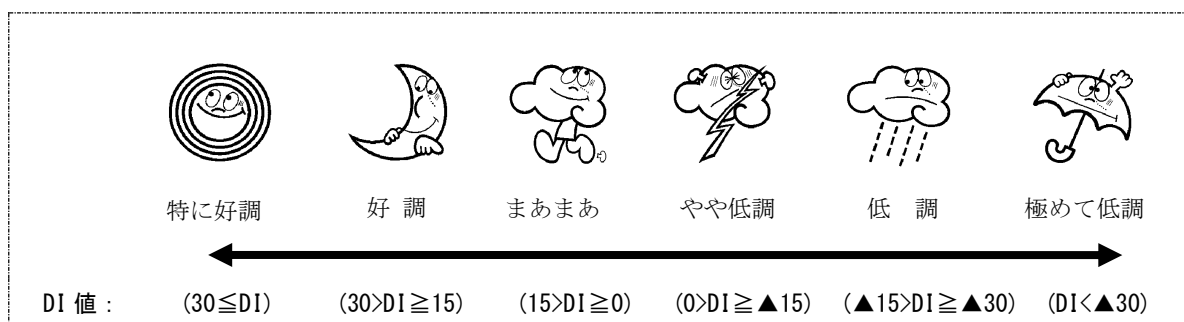
➡「変わらない」では「民間の設備投資が低調なため」(建設業)「新型コロナウイルス感染症の影響で、お客様の財布のひもが固そうなため」(小売業)「特に大きな案件はないが、小規模な案件はいくつかあったため」「失業者の増加による職業訓練受講者数がやや頭打ちになっているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「新型コロナウイルス感染症の影響を、飲食店が受ける可能性が高いため」「例年明けは動きが良くないため」「受注が前年比で26%ダウンしているため」(製造業)「野菜消費が減っているため」(卸売業)「閑散期に加え、大人数の宴会自粛等の影響のため」(飲食業)「緊急事態宣言の発出、Go To トラベルキャンペーン事業の停止のため」「12月後半から1月に入って新型コロナウイルス感染症患者数が増え続けて先が見えないため」「松本地域で新型コロナウイルス感染症患者数が増加傾向にあり、物流にも影響がありそうなため」「3月以降のテーマが決まっていないため」(サービス業)「新型コロナウイルス感染症の影響(同意見15件)」といった声が寄せられた。



業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	元年12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	▲ 4.0	16.6	▲ 12.5	▲ 5.0	▲ 35.0	▲ 18.2	▲ 29.2	▲ 31.8	▲ 35.0	▲ 39.1	▲ 15.8	▲ 22.8	▲ 13.6
受注量	▲ 4.0	0.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 55.0	▲ 36.4	▲ 29.2	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 34.8	▲ 21.0	▲ 18.2	▲ 27.3
受注単価	▲ 4.0	0.0	▲ 8.3	▲ 5.0	▲ 15.0	▲ 18.2	▲ 20.8	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 21.7	▲ 10.5	▲ 13.7	▲ 4.5
営業利益	0.0	▲ 4.2	▲ 29.1	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 31.8	▲ 37.5	▲ 36.4	▲ 40.0	▲ 30.4	▲ 31.6	▲ 36.4	▲ 31.8
見通し	▲ 8.0	4.2	▲ 12.5	▲ 5.0	▲ 25.0	▲ 13.7	▲ 4.2	▲ 4.6	0.0	▲ 8.7	▲ 10.6	▲ 13.7	▲ 4.6

<経営者の目・見方・etc>

建設業

・今のところ新型コロナウイルス感染症の影響を直接受けてはいないが、今後は避けられないと思われる。来年度以降も先行きが不安である。

建築工事

・今後の状況を予想ができない。とにかく感染予防を十分にしていきたい。

土木工事

・政府は地銀を再編し、中小企業を半分にするという政策を行おうとしている。中小企業の味方の専門家のお話を是非お聞きしたい。

鉄工

・民間の設備投資が低調なため、とても厳しい状況にあると思われる。

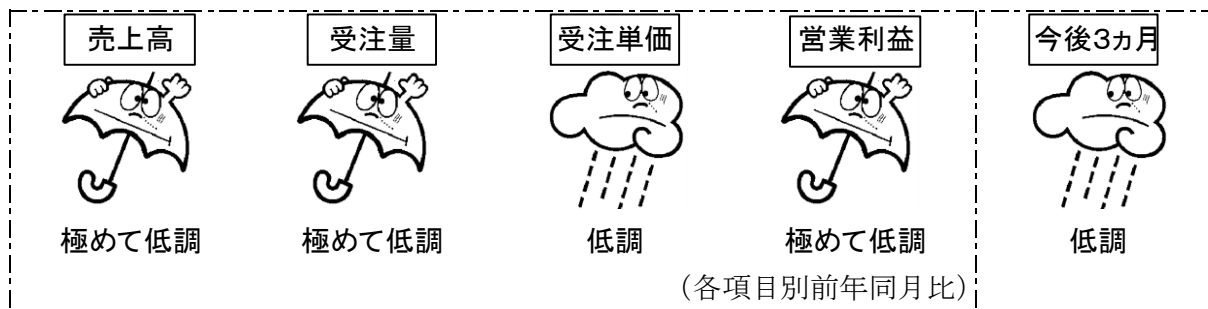
電気工事

・新型コロナウイルス感染症の第3波による現場ストップが、年末にかけてなかったことがひと安心である。しかし年明けより多方面において影響が出てくると危惧している。

管工事

・12月は毎年完成工事が多く、新年度に持ち越す分、売上としては平年並みだったが、令和3年度は見通しが難しいかもしれない。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	元年12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	▲ 40.9	▲ 14.3	▲ 41.0	▲ 19.1	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 70.6	▲ 76.2	▲ 68.2	▲ 64.0	▲ 47.6	▲ 38.1	▲ 43.5
受注量	▲ 27.3	▲ 19.0	▲ 41.0	▲ 33.3	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 70.6	▲ 81.0	▲ 59.1	▲ 52.0	▲ 42.8	▲ 33.4	▲ 56.6
受注単価	▲ 13.6	▲ 14.2	▲ 9.1	▲ 4.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 35.3	▲ 42.9	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 17.4
営業利益	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 81.2	▲ 65.0	▲ 82.3	▲ 90.5	▲ 59.1	▲ 60.0	▲ 52.4	▲ 57.1	▲ 56.5
見通し	▲ 4.5	4.8	▲ 22.8	▲ 38.1	▲ 31.3	▲ 30.0	▲ 35.3	▲ 23.8	▲ 22.7	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 14.2	▲ 17.4

<経営者の目・見方・etc>

印刷

- ・Go To 関連事業の影響で、11月まではそこそこに景気回復基調があった様に感じるが、一時停止が発表されてからは一気に下降した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、DX（デジタルトランスフォーメーション）が叫ばれている。印刷業界はその状況からすると、業態変化を問われることになってきている。しかしながら、目の前の当面の顧客は紙の印刷物を求めており、行政が大きく舵を取ろうとしている、DXへの対応やそれに伴う印刷物の減少、さらに連動するであろう業界内の地域雇用などへの補償は全く見えない。今の業界のあり方と政府・行政の方針とは真逆なので、引き裂かれるような思いである。

紙器

- ・なかなか元の状況には戻らない気がする。新型コロナウイルス感染症の終息が見えないことが一番の不安要素である。

食品・飲料

- ・1月に予定していた展示会が全て中止となった。

清酒製造業

- ・酒類業界は今後も厳しいと聞いている。

漬物・味噌

- ・県外客の来店はほぼ無かった。

精密機器

- ・一部の産業は戻り始めているが不安定な状況が続いている。コロナ禍とアメリカ大統領交代がどのような影響を与えていくか注視したい。

精密機器組立

- ・感染が拡大しており、今後の事業への影響が気になる。

小型情報機器組立

- ・立て続けに新型コロナウイルス感染症の影響を受け、先が見えない。チップ部品の入りも悪すぎるのが気になる。

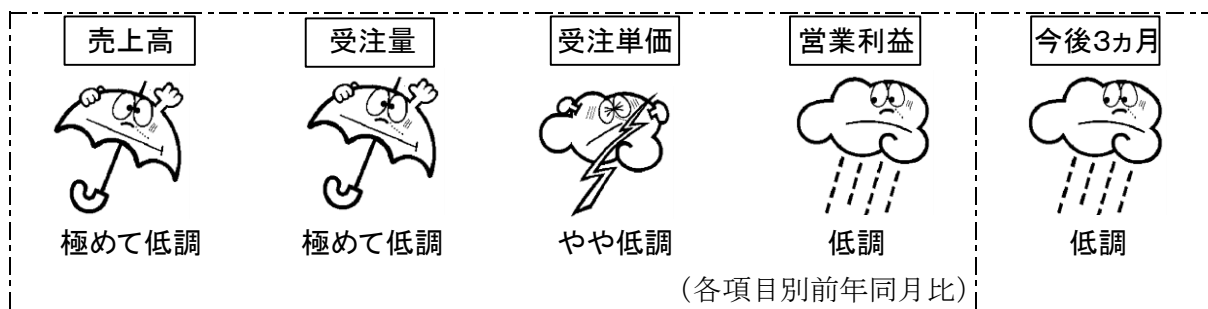
プラスチック製造

- ・新型コロナウイルス感染症患者が長野県内でも増え、営業活動が自粛され、12月に入り途端に受注量が減少した。先が見えない状況が続き、大変不安を感じている。

金属塗装

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で受注が大きく落ち込み、採算が悪くなった。

3. 卸売業



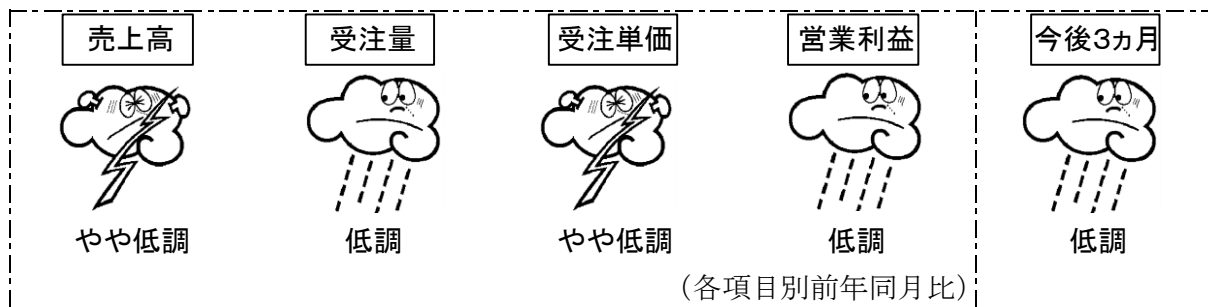
【項目別DIの推移】

	元年12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 53.8	▲ 41.7	▲ 60.0	▲ 61.5	▲ 25.0	▲ 61.5	▲ 38.5
販売客数	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 28.6	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 54.5	▲ 30.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 30.8	▲ 30.8
販売客単価	7.7	▲ 23.1	▲ 7.1	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 27.3	▲ 15.4	▲ 33.4	13.3	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 7.7
営業利益	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 54.5	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 46.1	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 23.1
見通し	7.7	▲ 23.1	▲ 35.7	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 7.7	▲ 8.3	0.0	7.7	▲ 8.3	▲ 15.4	▲ 23.1

<経営者の目・見方・etc>

- 土産品
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による、観光客の激減で厳しい状況である。Go Toトラベルキャンペーン事業が一時停止になったことも、消費に大きく左右され、対応策が見つからないのが実情である。
- 業務用食品
 - ・年末年始のGo Toトラベルキャンペーン事業の急な停止は、外食業界への影響が大きいと思われる。
- 魚介類
 - ・ホテル、宿泊業ではGo Toトラベルキャンペーン事業の一時停止だけでなく、夜の宴会もなくなり、飲食関連が厳しい。今後の経営悪化が心配される。
- 青果
 - ・コロナ禍で年末の帰省が自粛され、量販店の売上が上がらない。野菜の単価安もあり厳しい年末となった。さらに、飲食関係の納め業務はより厳しいように思われる。
- 青果卸小売業
 - ・今年は年末帰省する人がいなかったため、家庭内でご馳走を作ることが少なく、消費力がものすごく落ちたと感じる。
- 金属製品
 - ・製造業に関しては、自動車産業中心に回復している。建設業界では、鋼材単価が急上昇している一方、ホテル、テナントビル関連で延期や中止の話もあり、物件が減少し、鉄骨加工単価に陰りが見える。
- 機械工具
 - ・半導体関連企業にまだ明るさがあるため何とかなっている。新型コロナウイルス感染症の終息が見えれば、売上はもっと上昇すると思われる。
- 自転車
 - ・必要最小限の購入なのか、冬商材で活発な購買は見られない。修理が増えている。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	元年12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	▲ 6.7	▲ 23.4	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 50.0	▲ 72.0	▲ 32.0	▲ 66.7	▲ 43.5	▲ 36.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 7.4
販売客数	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 35.7	▲ 61.5	▲ 62.5	▲ 68.0	▲ 44.0	▲ 54.1	▲ 30.4	▲ 36.4	▲ 26.1	▲ 26.1	▲ 29.7
販売客単価	10.0	▲ 16.7	3.6	▲ 26.9	▲ 25.0	▲ 28.0	▲ 12.0	▲ 37.5	▲ 21.7	▲ 31.9	▲ 4.3	▲ 21.7	▲ 3.7
営業利益	▲ 16.7	▲ 36.7	▲ 35.7	▲ 46.2	▲ 54.2	▲ 68.0	▲ 32.0	▲ 62.5	▲ 43.5	▲ 36.3	▲ 8.7	▲ 17.4	▲ 18.5
見通し	▲ 3.3	▲ 26.6	▲ 53.6	▲ 61.6	▲ 45.8	▲ 32.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 17.4	0.0	▲ 8.7	▲ 8.7	▲ 18.5

<経営者の目・見方・e t c >

- | | |
|-----------|---|
| 印章 | ・法人関係の売上が激減。個人のお客様の売上でなんとかカバーできたが、かなり深刻である。 |
| 印章・刃物研ぎ | ・人の往来、接客、会話など、増々気にかけるようになり今後の取組はどのようにすればよいか毎日考えさせられている。 |
| 洋菓子店 | ・関係業者からパン屋・菓子屋は好調という話を聞く。ただ、先行きが不透明なので注視しながら今後も対策を練っていきたい。 |
| 和菓子
パン | ・松本の感染者の数が多いため、街への人の外出が少ないように感じる。
・12月は市内でも新型コロナウイルス感染症がまだ少ない時期であったため、ご来店のお客様も家族連れなど複数人での来店も多く、お店の売上としてはありがたかった。 |
| おやき | ・Go To 関連事業の一時停止により宿泊業等からの注文が大幅に減った。周辺の飲食店も売上の減少が大きいらしい。新型コロナウイルス感染症の終息を待っている。 |
| 生鮮食品 | ・松本からも新型コロナウイルス感染症に感染する人が何人も出てきて、目的をもって買い物に出かける方が多くなり、専門業では良い方向だと思われる。しかし、家で食事をとる毎日なので、年末は例年より静かであった。 |
| 婦人服 | ・松本にも新型コロナウイルス感染症が広がって、お客様が安心してお買い物を楽しめることが難しくなっている。そんな中、百貨店友の会内の売上が昨年比103%と伸び、コートフェアでコートが動いた。クリスマスリース等、その時期だからこそその演出もした。 |
| 宝石 | ・クリスマス需要で、少し売上が伸びた。 |
| 化粧品 | ・新型コロナウイルス感染症の影響で、エステ・メイクなどメーカーに準じて肌へ直接触れる行為を行っていない。 |
| 薬局 | ・来店数が少なく、電話での宅配に移行している。 |
| 住宅機器 | ・例年の年末よりかなり静かであった。 |
| 燃料 | ・今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況と自動車の電動化政策が気になる。 |

・世間体が気になる名の知れた組織の忘年会は見合わせられることがほとんどだったが、一般の外食需要は旺盛で、予約の取れない飲食店も散見された。外食の機会が減少する中で、日ごろから評価の高い店に予約が集中したのかもしれない。ただ、今後の感染拡大状況によっては、そういうお店も少なくなると思われる。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	元年12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	▲ 20.0	▲ 31.2	▲ 47.0	▲ 92.9	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 88.2	▲ 58.8	▲ 68.7	▲ 87.5
販売客数	▲ 13.4	▲ 25.0	▲ 47.0	▲ 92.9	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 68.7	▲ 93.8
販売客単価	▲ 20.0	▲ 18.7	▲ 23.5	▲ 57.1	▲ 69.2	▲ 81.3	▲ 66.7	▲ 61.5	▲ 64.7	▲ 47.0	▲ 52.9	▲ 56.3	▲ 75.0
営業利益	▲ 40.0	▲ 37.5	▲ 52.9	▲ 85.7	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 81.3	▲ 87.5
見通し	▲ 13.3	▲ 6.3	▲ 47.1	▲ 71.4	▲ 46.2	▲ 18.7	▲ 26.6	▲ 23.1	▲ 41.2	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 37.5	▲ 37.5

<経営者の目・見方・etc>

料理

・お客様が夜は出歩かず、宴会はなく、これまでの当たり前が続けられない。曇りの日が多い月だった。

・忘年会等、年末の会合の自粛により、宴会需要がほとんど無くなった。新年もこの傾向が続くことから、事業継続のための政策支援が必要である。

郷土料理

・新型コロナウイルス感染症の再拡大により、他県からのお客様の来店が無くなり、宴会も取り消しになり、客数が激減した。

食堂

・12月前半は人出もあり良かったが、後半はせつかくの忘年会、法事などがキャンセルになり、1日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を祈る。

・イオンモール周辺では新しいお店が増えつつあり、土日の人出も多くなってきているように感じる。売上もほぼ昨年並みになってきた。

・Go To Eat キャンペーン事業の利用で助かってはいたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響の方が大きい。

寿司

・宴会の予約がほとんど消えてしまった。団体のお客様の予約はすべてキャンセルになってしまった。個人の家族連れのお客様は12月らしく、そこそこであった。Go To Eat キャンペーン事業の食事券での支払いが80%以上あり、現金がなくなり、支払いに支障が出ることがあった。

寿し

・今年の12月は忘年会などの宴会がほとんどなく、活気のない年末で、大変困っている。

居酒屋	・Go Toトラベルキャンペーン事業で、新型コロナウイルス感染症の影響が県内でも目立つようになった。今後はこういうことが起こらないでほしい。
洋風居酒屋	・新型コロナウイルス感染症第3波の影響はかなり大きい。ワクチンが接種されたところでどう変わるというのか。
そば	・Go Toトラベルキャンペーン事業の一時停止、大人数の宴会自粛、東京都の感染拡大などの先の見えない状況で大変厳しくなってきた。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	元年12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	0.0	2.2	▲ 8.9	▲ 25.5	▲ 56.8	▲ 61.4	▲ 65.9	▲ 44.2	▲ 46.7	▲ 44.1	▲ 17.4	▲ 20.5	▲ 39.6
販売客数	▲ 10.9	▲ 10.9	▲ 8.9	▲ 32.5	▲ 59.1	▲ 54.5	▲ 63.4	▲ 46.5	▲ 44.5	▲ 41.9	▲ 19.6	▲ 18.1	▲ 34.9
販売客単価	▲ 2.2	4.3	▲ 2.2	▲ 16.2	▲ 31.8	▲ 36.4	▲ 39.1	▲ 25.6	▲ 20.0	▲ 20.9	▲ 8.7	▲ 6.8	▲ 14.0
営業利益	▲ 4.4	0.0	▲ 8.9	▲ 27.9	▲ 59.1	▲ 59.1	▲ 63.5	▲ 41.9	▲ 46.7	▲ 46.5	▲ 21.8	▲ 15.9	▲ 41.8
見通し	▲ 10.8	▲ 4.4	▲ 40.0	▲ 44.2	▲ 34.1	▲ 20.5	▲ 9.7	▲ 11.6	▲ 13.4	▲ 4.6	▲ 6.5	▲ 16.0	▲ 23.3

<経営者の目・見方・etc>

自動車整備・板金塗装	・どこに行っても景気の良い話は聞こえてこない。楽しいはずの正月も家族が集まらない状況で次年度にかけの気力もなかなか出てこない。早く感染が収まるよう、個々の努力が必要ではないかと思われる。
機械設計	・製造業も良くなってきたと思ったが、新型コロナウイルス感染症がますます拡大してきたので、先行きが分からない。人の動きが制限され、リモートで仕事をすることになる。
ソフトウェア	・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、システム化投資を手控える企業もあるが、当社と取引のある顧客に影響はない。ただ、リモートワークを実現するツールの拡充により、距離感をあまり感じないプロジェクトが見込める。
システムサポート	・11月の落ち込みからは持ち直した感はあるが、弱い。先行きの不透明感が払拭されない限り、設備投資は厳しい。
タクシー	・Go To トラベルキャンペーン事業でのクーポン利用客は、市街地ではほとんどない。下旬から一時停止で、輸送客数・売上高は前年に比べ半分であった。
理容	・依然として厳しい状況に変わりないと思われる。国の事業で少し上昇した業種もあったと思うが、その反動でそれ以上の不況感があるように思われ、そこから地域全体の低迷感が生じていくのではないだろうか。これから3ヵ月後にはこの状況も終息して春が来てほしい。

旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・Go To 関連事業が一時停止になったため、年末年始のお客様がかつてない程少なくなった。 ・Go To関連事業の延期によるキャンセル等でお客様はほとんど来なかった。
温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・12月は28日からGo To 関連事業が停止したが、前年同月比で130%まで売上が伸びた。ただし、年末年始から2月7日までGo To 関連事業の停止延長と緊急事態宣言により、1月の売上は大幅な下方修正となり、かなり厳しい状況と思われる。1月、2月は去年の4月、5月のような売上进行を予測している。 ・令和2年の12月は新型コロナウイルス感染症の影響で、年末観光もビジネスも最悪で、令和3年は希望のある1年を期待している。
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・Go To 関連事業延期、大人数での集会自粛、宴会・宿泊のキャンセルなど良い話は何もない。 ・Go To トラベルキャンペーン事業の一時停止による当社への影響が心配である。
測量・建設コンサルタント業	<ul style="list-style-type: none"> ・どうにか年は越せたが、新型コロナウイルス感染症拡大で先が見通せない。
不動産賃貸	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産賃貸料を5ヶ月分の30万円を値下げする。
介護サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・良い話は入ってこない。近年にない最悪の年末である。政界に振り回されているように感じる。
リラクゼーション	<ul style="list-style-type: none"> ・世間全体で活動自粛の雰囲気を感じる。
ホームクリーニング・リネンサプライ業	<ul style="list-style-type: none"> ・Go To トラベルキャンペーン事業の停止、新型コロナウイルス感染症患者数の急激な増加により、12月中旬以降の売上が減少した。また、1～2月期の売上、利益が去年の4～5月期と同じくらいになるように感じて不安である。
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響でホテル宿泊件数の激減(7割減)だったが、美容部門の増加で売上高は前年を上回った。今後さらなる感染拡大が予想されるので、しっかりと感染対策をしていきたい。
獣医	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年の各月で12月のみ前年同月比で売上高が低かった。新型コロナウイルス感染症の第3波の影響があるかは不明であるが、今後の経営業績も不安が募る。
写真	<ul style="list-style-type: none"> ・写真業界としては成人式が延期になってしまったことは、大変大きな影響を受けている。さらに今後、学校関係の卒業式など、どうなるか心配している。
倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・年末年始で新型コロナウイルス感染症患者数が増え、今後工事等の稼働が維持されるか不明で、生産物流が減り、さらに消費物流も個人向け以外は物量が減りそうである。
教育業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍もあり、イベント等開催ができず、通常に戻るまでにまだ時間がかかると思われる。